

# セミナー「化学千一夜」 「あすの化学への夢を語ろう」

主催：有機合成化学協会関西支部 共催：日本化学会近畿支部、近畿化学協会合成部会

本セミナーは、有機合成及び関連分野における新手法、新概念や新材料など幅広い話題をとりあげ、産・学界でご活躍の先生方の研究の考え方、研究と開発のあり方、等の話題を中心に、“あすの夢”を披露いただきます。そうしてアットホームな雰囲気の中で講師、参加者共々、膝を交えて懇談する中で情報交換と親睦を深めます。何卒、多数のご参加を賜りますようご案内申し上げます。

日時：2018年 6月 8日(金)13:00 ~ 9日(土)12:00〔1泊2日〕

会場：ダイキン工業(株) テクノロジー・イノベーションセンター〔見学・講演〕  
(大阪府摂津市西一津屋1番1号)

I & I LAND (アイ・アイ・ランド)〔講演・宿泊〕(大阪府四條畷市逢阪 458)

集合：ダイキン工業(株) テクノロジー・イノベーションセンター 12:40頃<予定>  
<アクセス>①JR「吹田」駅中央出口・バスターミナル3番のりばより阪急バスで「ダイキン工業前」下車(約20分) / ②阪急「相川」駅西出口・バス停より阪急バスで「ダイキン工業前」下車(約13分) / ③モノレール「南摂津」駅より徒歩20分 / ④地下鉄今里筋線「井高野」駅より徒歩20分

プログラム

## 第1日(6月8日・金)

見学&講演会 (13:00~17:00)

説明・見学 ダイキン工業(株)会社紹介、テクノロジー・イノベーションセンター・工場見学(13:00~14:40)

講演①「テクノロジー・イノベーションセンターのご紹介とダイキンのフッ素化学」(14:50~15:15)

ダイキン工業(株)テクノロジー・イノベーションセンター 技師長 徳野 敏氏

2015年11月、ダイキングループの求心力となる研究開発のコア拠点として、当社淀川製作所内にテクノロジー・イノベーションセンター(TIC)を開設した。TICで取り組む産学連携事例および当社のフッ素化学事業について紹介する。

講演②「ダイキンのフッ素化技術と中間体の紹介」(15:15~15:50)

ダイキン工業(株)化学事業部 商品開発部 主任技師 黒木 克親氏

ダイキンはIF5など汎用性のある独自のフッ素化技術の開発や含フッ素基幹モノマーから誘導される様々な中間体の開発を行っており、医薬中間体並びに機能性材料に展開している。今回の講演では最近の産学連携テーマの結果も含めて紹介する。

講演③「光化学を直感的に理解する - 材料化学のための新しい量子化学 - 」(16:00~17:00)

京都大学化学研究所 助教 志津 功 将氏

遷移双極子モーメント(発光)、振電相互作用(熱失活)にスピン軌道相互作用(項間交差)。光化学を理解する上で鍵となるこれら分子の諸性質を、数式を使わずに視覚的に理解する「直感的量子化学」をご紹介します。

\* 宿舎へ移動 (バスで移動) \*

夕食交流会 (18:00~19:20)

放談会「千一夜物語とは比ぶべくもない化学よもやま話」(19:30~21:00)

京都大学名誉教授 植村 榮氏

この”化学千一夜”と名付けられたセミナー。その化学千一夜物語の1つとして、日本の化学の黎明・揺籃期からの小史、文学に現れた化学などのよもやま話を柱とする「教養としての化学」という観点からの話題を提供する。

## 第2日(6月9日・土)

講演④「無機ナノ粒子触媒が叶えるクリーンな物質・エネルギー変換」(8:30~9:30)

九州大学カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所 教授 山内 美穂氏

無機ナノ粒子は、特異な電子状態あるいは配位不飽和サイトなどのため、優れた触媒特性を示すことが知られています。講演では、組成や配列を制御した金属や酸化物のナノ粒子をもちいた触媒反応を紹介します。

講演⑤「ホスゲン反応へのフローリアクターシステムの活用とGMP・マルチパーパス設備の導入」(9:30~10:30)

(株)カネカ Pharma & Supplemental Nutrition Solutions Vehicle

医薬研究グループ 研究企画チーム 主任 安河内 宏 昭氏

安価で反応性の高いホスゲンは有用な試剤として知られているが、毒性が非常に強いことから工業的規模での使用には安全上の課題を有している。本公演では、フローリアクターを用いた安全で効率的なホスゲン反応プロセスと導入設備について紹介する。

講演⑥「電子が触媒するクロスカップリング反応」(10:40~11:40)

関西学院大学 理工学部 教授 白川 英二氏

我々が最近開発した、有機金属化合物とハロゲン化アリールの「電子触媒クロスカップリング反応」について、遷移金属の代わりに電子がどのような反応をどのように触媒するかを紹介する。

\*\*\* 終了後解散 (近鉄「生駒」駅まで送迎バスにて送迎予定) \*\*\*

申込締切日 5月8日(火) 定員50名になり次第締め切ります。

参加費 主催共催団体会員30,000円(ただし学校、官公庁会員20,000円)、学生会員15,000円、非会員40,000円、学生非会員20,000円、シニア会員15,000円  
\*参加費には宿泊費、食費、テキスト費、消費税などが含まれます。

参加申込方法 下記申込書により、参加費を添えてお申し込み下さい。

HP ( <http://www.soc-kansai.org/event/2018/2018senichiya.html> )からもお申し込みできます。

- ① 送金方法は銀行振込(りそな銀行御堂筋支店普通預金No.0035401 公益社団法人有機合成化学協会関西支部)、郵便振替(00970-8-159429 公益社団法人有機合成化学協会関西支部)、現金書留のいずれかをご利用下さい。
- ② 主催・共催団体の維持・特別会員の会社・工場よりお申し込みの場合、受講者が非会員でも会員参加費で取り扱います。
- ③ 申込者には参加証、案内状をお送りします。(5月中旬頃)

申込先 〒550-0004大阪市西区靱本町1-8-4(大阪科学技術センター6階)

有機合成化学協会関西支部

(TEL06-6441-5531,FAX06-6443-6685, E-mail: [seminar@soc-kansai.org](mailto:seminar@soc-kansai.org) )

## セミナー化学千一夜「あすの化学への夢を語ろう」参加申込書 (平成30年度)

|                |                        |    |                                                           |              |    |    |       |  |
|----------------|------------------------|----|-----------------------------------------------------------|--------------|----|----|-------|--|
| 氏名             |                        | 年齢 |                                                           | 男女           | 喫煙 | 有無 | 所属学協会 |  |
| 勤務先<br>(又は学校名) |                        |    |                                                           | 部・課名<br>/ 役職 |    |    |       |  |
| 所在地            | 〒<br>TEL FAX<br>E-mail |    |                                                           |              |    |    |       |  |
| 送金内容<br>( )内〇印 | _____円                 |    | 銀行振込( )・郵便振替( )・現金書留( )<br>_____月 _____日 送金予定 / 請求書(要・不要) |              |    |    |       |  |

(複写可)